

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 27 年 5 月 25 日

設置・運営主体			
設置主体	社会福祉法人 はなみずき会		
経営主体	社会福祉法人 はなみずき会		
事業所名 (施設名)	ぽかぽか保育園	種別	保育所
所在地	〒 357-0021 埼玉県飯能市双柳1284-1		
電話	042-974-8300		
FAX	042-974-8304		
E-mail	hana-mizuki@bz03.plala.or.jp		
URL			
施設長氏名	和田 里美		
調査対応担当者	本橋 礼子	(所属、職名： 子育て支援センター ひなたぼっこ保育士)	
利用定員	60 名	開設年	平成 19 年 4 月 1 日
理念・基本方針	<p>園のポリシーとテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぽかぽかネットワーク」を生かし、一人ひとりの子供へのていねいな保育と保護者の方への温かなサポートを行って行きます。 ・子どもの心の起訴の育ち、基本的な生活習慣の自立を育てるとともに、人と関わる力、美への感性を育てる環境を提供します。 ・これまで築いてきた経験をもとに、次の4つの柱で保育をすすめていきます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子供の保育 (2) 保護者への支援 (3) 職員の資質向上 (4) 地域社会との関わり 		
開所時間 (通所施設のみ)	平日(月曜日～土曜日) 7:00～19:00 一時保育・休日保育 8:00～18:00		

【利用者の状況に関する事項】

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	12	11	1	11	4
1歳児	23	26	3	19	4
2歳児	25	30			
3歳児					
4歳児					
5歳児					
計	60	67	4	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

常勤職員数	10人				
うち	保育士	9人	保健師・看護師	1人	
	栄養士・調理員		その他(理事長)	1人	
非常勤職員数	30人	(常勤換算	21人)		
うち	保育士	15人	(常勤換算	19人)	
	保健師・看護師	1人	(常勤換算	0人)	
	栄養士・調理員	7人	(常勤換算	2人)	
	その他(事務・保育補助)	7人	(常勤換算	0人)	
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。					
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤：	1人	非常勤：	1人
	退職	常勤：	1人	非常勤：	6人
(3) 常勤職員(うち保育士・保健師・看護師)の平均年齢	34.3歳(32.2歳)				
(4) 常勤職員(うち保育士・保健師・看護師)の平均在職年数	3.9年(3.4年)				
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。					

【本来事業に併設して行っている事業】

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	(18:00~19:00)30分¥150
休日保育	○	(8:00~18:00)¥2500
障害児保育		—
一時保育	○	
地域子育て支援センター	○	
乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）		
アレルギー等対応給食	○	—
その他（事業名： 就労継続支援A型 ）	○	

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 26 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数） 1 人

・ボランティアの業務

清掃業務・保育補助業務

【実習生の受け入れ】

・平成 26 年度における実習生の受け入れ数（実数）

保育士 4 人

その他 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

(1) 建物面積 (保育所分)	546.11 m ²	
	児童 1 人あたり	9.1 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計 ÷ 定員)
(2) 園庭面積	535.5 m ²	
	児童 1 人あたり	8.9 m ² (計算式: 園庭面積合計 ÷ 定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築 (含大改築) 年	平成	19 年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・園児の送迎時に、生活の様子を伝えながら保護者とコミュニケーションを取り、相談事や意見を聞きとれるようにしている。
- ・保育士体験を通し、園児への対応の仕方など、園の方針を体感してもらい、アンケート用紙にて保護者の感想や意見を記入してもらっている。
- ・保護者との情報交換として、連絡ノートを活用して保護者からの意見を聞いたり相談に応じている。
- ・年3回の懇談会で園生活の事や子供の発達の仕方、食育、保険等について情報提供したり、クラスで話し合う時間をつくり、保護者の意見を聴いたりして、保護者とのコミュニケーションを図る場を設けている。
- ・気楽に職員へ声をかけられるよう、職員全員が丁寧な対応を心がけている。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・1, 2歳児は縦割り保育を行い、それぞれ発達の刺激となるような保育を行っている。また、時には1歳児、2歳児分かれて保育をし、遊びの充実、欲求の受けとめなど心が安定するような保育を心がけている。
- ・0～2歳の低年齢の時期から「食」の充実が重要と考え、「食育」を取り入れている。0歳児は、懇談会時に離乳食の試食体験（管理栄養士による相談対応含む）を行い、1歳児、2歳児は、おやつ作り、きゅうりの苗植え、収穫、パン作り、クッキー作りなど、発達に見合った方法で行っている。保護者も食に関心を寄せるような食育活動を行っている。
- ・保育士体験を年2, 3回実施し、保育士の園児への対応の仕方など園の方針を理解して頂けるようつとめている。
- ・看護師や管理栄養士がいる為、園児の病気などへの対応（早めの周知）や既往症に対しては、保護者、主治医、保育園、防災センター（救急）との連携をとり、安全・安心な園生活を目ざしている。
- ・就労継続支援A型事業との連携で、保育園の主に清掃作業を行ってもらい、保育士の負担軽減となっている。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

_____ 0 _____ 回 （平成 _____ 年度）